

監視社会の<^{いま}現在>を考える

ビッグデータ、マイナンバー、AI…

2020年 3月13日(金) 18:30~20:30 (開場 18:00)

講師：齋藤貴男さん (ジャーナリスト)

- 会場：光塾 COMMON CONTACT 並木町
- 参加費：1000円 (学生 500円) / 市民研会員は半額かつ同伴者割引あり / 事前予約が必要です (定員 40名)



マイナンバー制が導入された後、マイナンバー・カードの普及は一般的には進んでいないようだが、公務員等へはカードの所持・利用が半強制的に進められ、マイナンバーの利用範囲もさらなる拡大が図られようとしている。かつて懸念されていた国民総背番号制が実現されてしまったばかりでなく、近年の情報コンピュータ技術や AI (人工知能) などのビッグデータを扱うテクノロジーの進展により、現在、どのような監視社会になってしまっているのだろうか。長年、このテーマに取り組んでこられた齋藤貴男氏に講演していただきます。

講師プロフィール

1958 年生まれ。早稲田大学卒、バーミンガム大学で MA 取得。日本工業新聞社やいくつかの雑誌などで記者を務めた後、ジャーナリストとして独立。社会の中に潜む、構造的な問題を浮き彫りにする多くの著書・記事を執筆。著書に『機会不平等』『民意のつくりかた』『安心のファシズム』『マイナンバー』が日本を壊す』『消費税のカラクリ』『「東京電力」研究 排除の系譜』『子宮頸がんワクチン事件』など多数。

お問い合わせ：
市民科学研究所
tel.03-5834-8328
fax.03-5834-8329
電子メール
renraku@shiminkagaku.org

お申し込みは
市民研ホームページ
www.shiminkagaku.org
の専用サイトで
受け付けています

会場案内：
JR 渋谷駅の**新南口改札**から
徒歩1分。駅からは外に出
ず、埼京線への乗り替え連絡
通路で新南口に出ると便利。
渋谷区渋谷 3-27-15 光和
ビル地下 03-6427-6462



市民研
NPO法人 市民科学研究所

@ **光塾** COMMON CONTACT 並木町